

<為替ヘッジあり>

第23期末 (2024年4月22日)	
基準価額	10,104円
純資産総額	68百万円
第22期～第23期 (2023年10月21日～2024年4月22日)	
騰落率	11.1%
分配金合計	100円

<為替ヘッジなし>

第33期末 (2024年4月22日)	
基準価額	10,708円
純資産総額	468百万円
第32期～第33期 (2023年10月21日～2024年4月22日)	
騰落率	17.3%
分配金合計	1,200円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ 北欧株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【愛称】 オーロラスター

追加型投信 / 海外 / 株式

運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2023年10月21日～2024年4月22日

<為替ヘッジあり>

第22期 (決算日 2024年1月22日)

第23期 (決算日 2024年4月22日)

<為替ヘッジなし>

第32期 (決算日 2024年1月22日)

第33期 (決算日 2024年4月22日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ北欧株式ファンド(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は、2024年4月22日に決算を行いました。

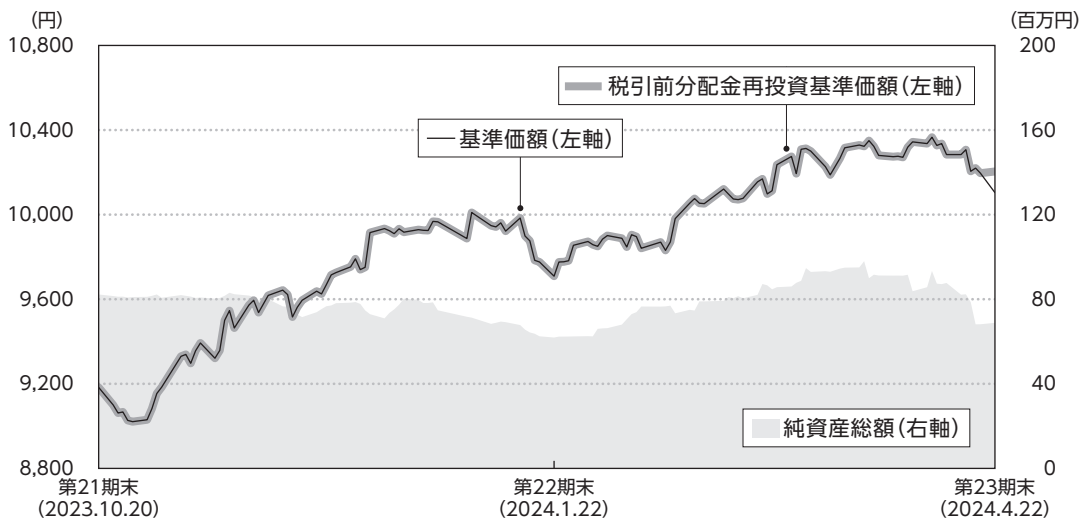
各ファンドは、「ニッセイ北欧株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、北欧各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2023年10月21日～2024年4月22日

基準価額等の推移



第22期首	9,183円	既払分配金	100円
第23期末	10,104円	騰落率 (分配金再投資ベース)	11.1%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 11月上旬から12月下旬にかけて、インフレの落ち着きなどから欧米中央銀行の方向転換に対する期待感から米長期金利の低下や欧州における利下げ観測の高まり、生成人工知能（AI）の需要拡大による米大手テクノロジー企業の良好な業績発表などが好感されたこと
- ・ 2月中旬から3月中旬にかけて、肥満症治療薬への需要拡大が好感されたことや業績動向を手掛かりにした世界的な大型株への物色

1万口当たりの費用明細

項目	第22期～第23期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	90円	0.917%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,870円です。
(投信会社)	(44)	(0.445)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(44)	(0.445)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	3	0.030	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(3)	(0.030)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	21	0.210	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(20)	(0.204)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	114	1.156	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

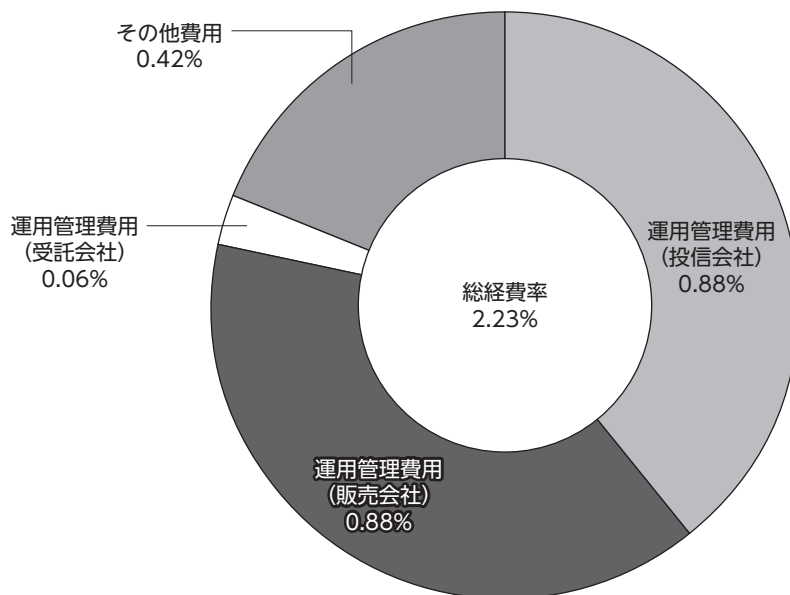
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.23%**です。



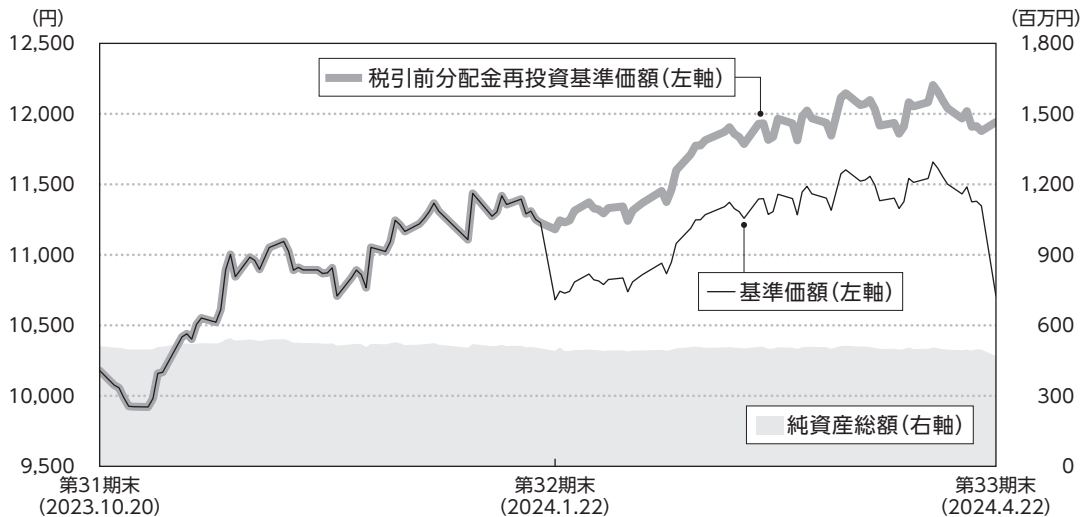
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第32期首	10,179円	既払分配金	1,200円
第33期末	10,708円	騰落率 (分配金再投資ベース)	17.3%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 11月上旬から12月下旬にかけて、インフレの落ち着きなどから欧米中央銀行の方向転換に対する期待感から米長期金利の低下や欧州における利下げ観測の高まり、生成A Iの需要拡大による米大手テクノロジー企業の良好な業績発表などが好感されたこと
- ・ 2月中旬から3月中旬にかけて、肥満症治療薬への需要拡大が好感されたことや業績動向を手掛かりにした世界的な大型株への物色
- ・ 投資家のリスク選好姿勢や、日銀の金融緩和継続姿勢を受けて円安が進行したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第32期～第33期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	101円	0.917%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,043円です。
(投信会社)	(49)	(0.445)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(49)	(0.445)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	4	0.033	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(4)	(0.033)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	11	0.095	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(10)	(0.090)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	115	1.045	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

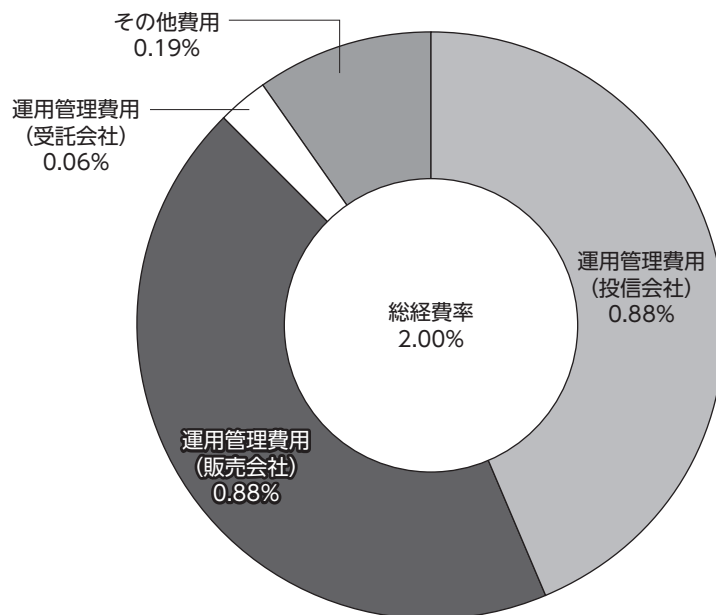
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.00%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

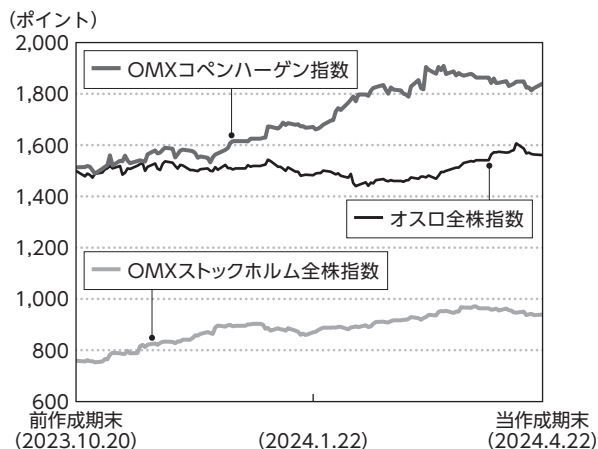
(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

投資環境

■ 海外株式市況

【北欧主要株価指数の推移】



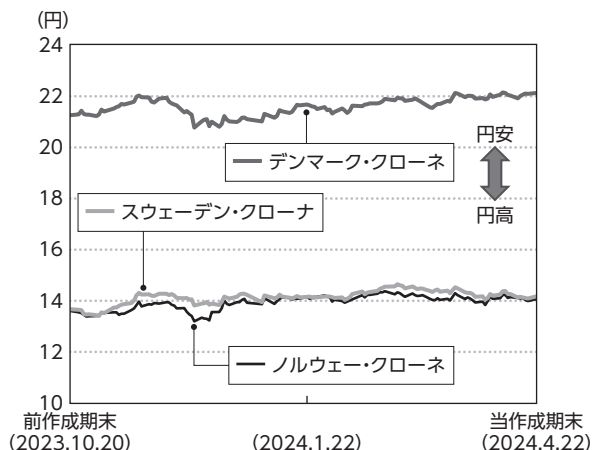
(注) 各指数はブルームバークのデータを使用しています。

当作成期の北欧株式市場は上昇しました。

当作成期初以降、インフレの落ち着きなどから欧州中央銀行（ECB）による早期利下げ期待も高まるなど、欧米中央銀行の方向転換に対する期待感から上昇する展開となりました。その後も業績動向を手掛かりにした物色の動きは続き、特に肥満症治療薬への需要拡大が好感された糖尿病ケアのリーディングカンパニーであるノボ・ノルディスクが株式市場をけん引したデンマークは大きく上昇しました。

■ 為替市況

【為替レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

当作成期の北欧通貨は対円で上昇しました。

当作成期初以降、日銀がマイナス金利政策を解除した後も金融緩和的な姿勢を続けたことや、投資家のリスク選好姿勢などから円安となりました。特にアメリカのインフレ高止まりで利下げ見通しが後ずれしたことから米ドル高が進行し、金利差による円売り圧力を受けて北欧通貨に対しても円安が進行しました。

ポートフォリオ

■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました。なお<為替ヘッジあり>については原則として為替ヘッジを行い、対円での為替変動リスクの低減を図りました。

■マザーファンド

主に北欧企業の株式へ投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

個別銘柄については北欧企業の「高い技術」、「優れたデザイン」、「独自のビジネスモデル」などに優位性を持ち、今後の株価上昇に対し確信度の高い銘柄を厳選して組み入れを実施しました。

当作成期末の業種配分については組入比率の高い順に、資本財・サービス（30.9%）、金融（28.6%）、ヘルスケア（14.7%）としています。

(注1) 比率は対純資産総額比です。

(注2) 業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

ベンチマークとの差異

■為替ヘッジあり

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、北欧各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■為替ヘッジなし

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、北欧各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■為替ヘッジあり

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第22期	第23期
	2023年10月21日～2024年1月22日	2024年1月23日～2024年4月22日
当期分配金（税引前）	－	100円
対基準価額比率	－	0.98%
当期の収益	－	100円
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	1,103円	1,212円

■為替ヘッジなし

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第32期	第33期
	2023年10月21日～2024年1月22日	2024年1月23日～2024年4月22日
当期分配金（税引前）	500円	700円
対基準価額比率	4.47%	6.14%
当期の収益	500円	700円
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	1,483円	1,488円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、北欧各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。なお<為替ヘッジあり>については原則として為替ヘッジを行い、対円での為替変動リスクの低減を図ります。

■マザーファンド

主要投資対象国であるノルウェー・スウェーデン・デンマークの北欧3カ国は、人口や経済規模を示す国内総生産（GDP）で見ると決して大国ではありませんが、信用格付は最上位であるAAAを維持しており、生産性を示す一人当たりのGDPは世界でもトップクラスです。また、北欧企業の経営効率を示す自己資本利益率（ROE）は欧州企業の平均を上回っており、世界的に活躍する優良企業が多数存在しています。北欧企業の製品やサービスは「高い技術」、「優れたデザイン」、「独自のビジネスモデル」を武器に、商品・サービスの差別化を図り世界的に展開しており、その優れたデザインやコンセプトは日本を含め世界中で人気を博しています。当マザーファンドでは北欧企業の優位性の源泉をしっかりと考慮して今後の株価上昇に対する確信度の高い銘柄を厳選して投資し、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

ファンドデータ

ニッセイ北欧株式ファンド（為替ヘッジあり）の組入資産の内容

組入ファンド

	第23期末 2024年4月22日
ニッセイ北欧株式マザーファンド	99.7%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

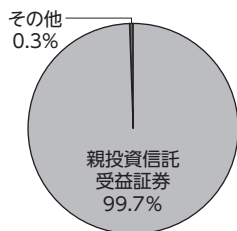
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

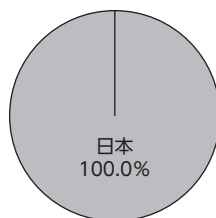
項目	第22期末 2024年1月22日	第23期末 2024年4月22日
純資産総額	61,886,803円	68,834,924円
受益権総口数	63,744,244口	68,123,939口
1万口当たり基準価額	9,709円	10,104円

(注) 当作成期間（第22期～第23期）中における追加設定元本額は80,661,520円、同解約元本額は102,101,295円です。

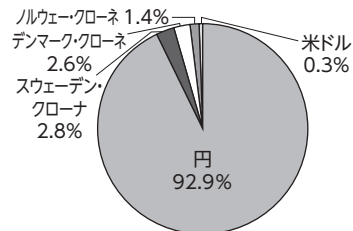
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年4月22日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注2) 通貨別配分については、実質組入比率を記載しています。

ニッセイ北欧株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第33期末 2024年4月22日
ニッセイ北欧株式マザーファンド	100.1%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。

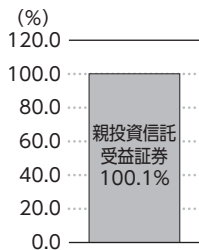
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

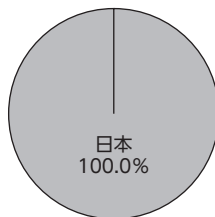
項目	第32期末 2024年1月22日	第33期末 2024年4月22日
純資産総額	491,366,124円	468,833,364円
受益権総口数	460,046,288口	437,841,867口
1万口当たり基準価額	10,681円	10,708円

(注) 当作成期間（第32期～第33期）中における追加設定元本額は54,609,197円、同解約元本額は119,040,255円です。

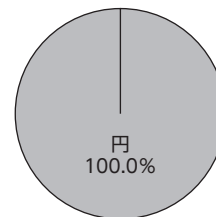
■資産別配分



■国別配分



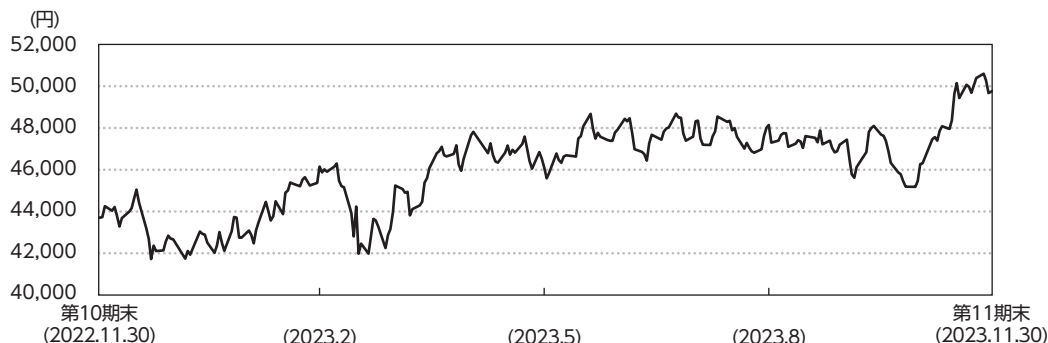
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年4月22日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ北欧株式マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

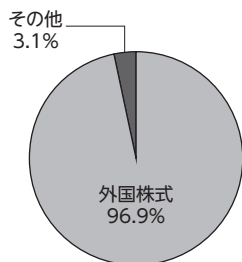
銘柄名	通貨	比率
NOVO-NORDISK A/S	デンマーク・クローネ	8.8%
NORDEA BANK ABP	スウェーデン・クローナ	8.4
ATLAS COPCO AB-A SHS	スウェーデン・クローナ	6.0
DSV A/S	デンマーク・クローネ	5.7
EQUINOR ASA	ノルウェー・クローネ	5.3
SVENSKA HANDELSBANKEN	スウェーデン・クローナ	5.2
AVANZA BANK HOLDING AB	スウェーデン・クローナ	4.8
GJENSIDIGE FORSIKRING ASA	ノルウェー・クローネ	4.4
TRYGVESTA AS	デンマーク・クローネ	4.2
TOPDANMARK A/S	デンマーク・クローネ	3.9
組入銘柄数		35

■ 1万口当たりの費用明細

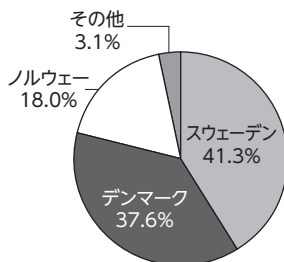
2022.12.1～2023.11.30

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	27円 (27)
その他費用 (保管費用)	91 (83)
(その他)	(8)
合計	118

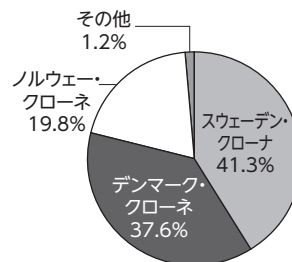
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。
- (注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年11月30日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。
- (注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	株式 組入比率	純資産 総額
14期(2022年 1 月20日)	10,387	300	△2.0	14,787	87.1	95
15期(2022年 4 月20日)	9,979	0	△3.9	14,379	95.2	93
16期(2022年 7 月20日)	9,251	0	△7.3	13,651	98.3	88
17期(2022年10月20日)	8,846	0	△4.4	13,246	98.7	83
18期(2023年 1 月20日)	9,579	0	8.3	13,979	93.0	89
19期(2023年 4 月20日)	10,135	0	5.8	14,535	95.1	95
20期(2023年 7 月20日)	9,662	0	△4.7	14,062	95.3	87
21期(2023年10月20日)	9,183	0	△5.0	13,583	93.3	82
22期(2024年 1 月22日)	9,709	0	5.7	14,109	93.3	61
23期(2024年 4 月22日)	10,104	100	5.1	14,604	93.7	68

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式 組入比率	
			円	%
(期首)	円	%		%
第22期 2023年10月20日	9,183	—	93.3	
10月末	9,083	△1.1	90.4	
11月末	9,562	4.1	98.2	
12月末	9,966	8.5	98.1	
(期末)				
2024年 1 月22日	9,709	5.7	93.3	
(期首)				
第23期 2024年 1 月22日	9,709	—	93.3	
1 月末	9,850	1.5	92.6	
2 月末	10,071	3.7	93.7	
3 月末	10,280	5.9	90.7	
(期末)				
2024年 4 月22日	10,204	5.1	93.7	

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年10月21日～2024年4月22日

	第22期～第23期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ北欧株式マザーファンド	15,474	81,909	20,738	109,109

(注) 単位未満は切り捨てています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第22期～第23期
	ニッセイ北欧株式マザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	128,653千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	546,317千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.23

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（作成期末の属する月については作成期末）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2023年10月21日～2024年4月22日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年4月22日現在

種類	第21期末	第23期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ北欧株式マザーファンド	17,780	12,515	68,630

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ北欧株式マザーファンド全体の口数は98,087千口です。

投資信託財産の構成

2024年4月22日現在

項目	第23期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ北欧株式マザーファンド	68,630	85.1
コール・ローン等、その他	12,044	14.9
投資信託財産総額	80,675	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお4月22日における邦貨換算レートは、1米ドル154.80円、1デンマーク・クローネ22.11円、1ノルウェー・クローネ14.07円、1スウェーデン・クローナ14.18円です。

(注2) ニッセイ北欧株式マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（530,416千円）の投資信託財産総額（579,668千円）に対する比率は91.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2024年1月22日)	(2024年4月22日)現在
	第22期末	第23期末
(A) 資産	141,091,058円	187,864,331円
コール・ローン等	339,388	344,007
ニッセイ北欧株式マザーファンド(評価額)	62,246,852	68,630,586
未収入金	78,504,818	118,889,738
(B) 負債	79,204,255	119,029,407
未払金	77,519,153	107,390,547
未払収益分配金	-	681,239
未払解約金	1,326,713	10,591,989
未払信託報酬	356,275	363,474
その他未払費用	2,114	2,158
(C) 純資産総額(A-B)	61,886,803	68,834,924
元本	63,744,244	68,123,939
次期繰越損益金△	1,857,441	710,985
(D) 受益権総口数	63,744,244口	68,123,939口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,709円	10,104円

(注) 当作成期首元本額 89,563,714円
 当作成期中追加設定元本額 80,661,520円
 当作成期中一部解約元本額 102,101,295円

損益の状況

項目	(第22期 2023年10月21日~2024年1月22日)	(第23期 2024年1月23日~2024年4月22日)
	第22期	第23期
(A) 有価証券売買損益	2,799,783円	2,216,264円
売 買 益	9,803,347	6,492,819
売 買 損	△7,003,564	△4,276,555
(B) 信託報酬等	△ 373,389	△ 434,632
(C) 当期損益金(A+B)	2,426,394	1,781,632
(D) 前期繰越損益金	△5,575,466	△1,576,583
(分配準備積立金)	(1,420,884)	(769,015)
(繰越欠損金)	(△6,996,350)	(△2,345,598)
(E) 追加信託差損益金*	1,291,631	1,187,175
(配当等相当額)	(5,483,873)	(6,746,159)
(売買損益相当額)	(△4,192,242)	(△5,558,984)
(F) 合計(C+D+E)	△1,857,441	1,392,224
(G) 収益分配金	-	△ 681,239
次期繰越損益金(F+G)	△1,857,441	710,985
追加信託差損益金	1,291,631	1,187,175
(配当等相当額)	(5,495,950)	(7,095,729)
(売買損益相当額)	(△4,204,319)	(△5,908,554)
分配準備積立金	1,536,032	1,163,179
繰越欠損金	△4,685,104	△1,639,369

(注1) (A)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (B)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (D)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (E)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第22期	第23期
(a) 経費控除後の配当等収益	115,148円	1,075,403円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	5,495,950円	7,095,729円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	1,420,884円	769,015円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	7,031,982円	8,940,147円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	1,103.16円	1,312.34円
(g) 分配金	0円	681,239円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円	100円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	株式 組入比率	純資産 総額
24期(2022年 1 月20日)	10,372	300	△ 6.2	16,872	87.9	546
25期(2022年 4 月20日)	10,548	200	3.6	17,248	92.8	598
26期(2022年 7 月20日)	9,775	0	△ 7.3	16,475	94.9	641
27期(2022年10月20日)	9,454	0	△ 3.3	16,154	96.2	576
28期(2023年 1 月20日)	9,643	0	2.0	16,343	93.0	563
29期(2023年 4 月20日)	10,545	100	10.4	17,345	94.4	586
30期(2023年 7 月20日)	10,583	200	2.3	17,583	92.6	536
31期(2023年10月20日)	10,179	0	△ 3.8	17,179	91.4	511
32期(2024年 1 月22日)	10,681	500	9.8	18,181	92.1	491
33期(2024年 4 月22日)	10,708	700	6.8	18,908	94.0	468

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式 組入比率	
				%
(期首)	円	%		%
2023年10月20日	10,179	—		91.4
10月末	9,981	△ 1.9		91.1
11月末	10,911	7.2		96.9
12月末	11,309	11.1		96.3
(期末)				
2024年 1 月22日	11,181	9.8		92.1
(期首)				
2024年 1 月22日	10,681	—		92.1
1 月末	10,815	1.3		92.3
2 月末	11,306	5.9		92.6
3 月末	11,384	6.6		90.9
(期末)				
2024年 4 月22日	11,408	6.8		94.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年10月21日～2024年4月22日

	第32期～第33期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ北欧株式マザーファンド	14,586	74,304	37,205	193,509

(注) 単位未満は切り捨てています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第32期～第33期
	ニッセイ北欧株式マザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	128,653千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	546,317千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.23

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（作成期末の属する月については作成期末）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2023年10月21日～2024年4月22日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年4月22日現在

種類	第31期末	第33期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ北欧株式マザーファンド	108,190	85,571	469,233

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ北欧株式マザーファンド全体の口数は98,087千口です。

ニッセイ北欧株式ファンド（為替ヘッジなし）

投資信託財産の構成

2024年4月22日現在

項目	第33期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ北欧株式マザーファンド	469,233	93.5
コール・ローン等、その他	32,557	6.5
投資信託財産総額	501,790	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお4月22日における邦貨換算レートは、1米ドル154.80円、1デンマーク・クローネ22.11円、1ノルウェー・クローネ14.07円、1スウェーデン・クローナ14.18円です。

(注2) ニッセイ北欧株式マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（530,416千円）の投資信託財産総額（579,668千円）に対する比率は91.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2024年1月22日)	(2024年4月22日)現在
	第32期末	第33期末
(A) 資産	520,033,254円	501,790,689円
コール・ローン等	2,280,341	2,124,088
ニッセイ北欧株式マザーファンド(評価額)	487,504,556	469,233,617
未収入金	30,248,357	30,432,984
(B) 負債	28,667,130	32,957,325
未払収益分配金	23,002,314	30,648,930
未払解約金	3,233,548	35,735
未払信託報酬	2,416,671	2,259,011
その他未払費用	14,597	13,649
(C) 純資産総額(A-B)	491,366,124	468,833,364
元本	460,046,288	437,841,867
次期繰越損益金	31,319,836	30,991,497
(D) 受益権総口数	460,046,288口	437,841,867口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,681円	10,708円

(注) 当作成期首元本額 502,272,925円
 当作成期中追加設定元本額 54,609,197円
 当作成期中一部解約元本額 119,040,255円

損益の状況

項目	(第32期 2023年10月21日~2024年1月22日)	(第33期 2024年1月23日~2024年4月22日)
	第32期	第33期
(A) 配当等収益	△ 42円	64円
受取利息	-	65
支払利息	△ 42	△ 1
(B) 有価証券売買損益	46,436,325	33,014,361
売買益	51,799,869	35,381,500
売買損	△ 5,363,544	△ 2,367,139
(C) 信託報酬等	△ 2,431,268	△ 2,272,660
(D) 当期損益(A+B+C)	44,005,015	30,741,765
(E) 前期繰越損益金	△ 12,604,029	7,481,598
(分配準備積立金)	(4,870,277)	(7,481,598)
(繰越欠損金)	(△17,474,306)	(-)
(F) 追加信託差損益金*	22,921,164	23,417,064
(配当等相当額)	(59,829,204)	(57,462,027)
(売買損益相当額)	(△36,908,040)	(△34,044,963)
(G) 合計(D+E+F)	54,322,150	61,640,427
(H) 収益分配金	△ 23,002,314	△ 30,648,930
次期繰越損益金(G+H)	31,319,836	30,991,497
追加信託差損益金	22,921,164	23,417,064
(配当等相当額)	(59,838,509)	(57,578,660)
(売買損益相当額)	(△36,917,345)	(△34,161,596)
分配準備積立金	8,398,672	7,574,433

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第32期	第33期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,011,983円	7,856,018円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	25,518,726円	22,885,747円
(c) 信託約款に定める収益調整金	59,838,509円	57,578,660円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	4,870,277円	7,481,598円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	91,239,495円	95,802,023円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	1,983.27円	2,188.05円
(g) 分配金	23,002,314円	30,648,930円
(h) 分配金 (1万口当たり)	500円	700円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

各ファンドの概要

		為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
商 品 分 類	追加型投信／海外／株式		
信 託 期 間	2018年7月20日～2028年7月20日		2016年1月27日～2028年7月20日
運 用 方 針	ニッセイ北欧株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、北欧各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。		
	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、対円での為替変動リスクの低減を図ることをめざします。		実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ニッセイ北欧株式 ファンド	ニッセイ北欧株式マザーファンド受益証券	
	ニッセイ北欧株式 マザーファンド	北欧企業の株式	
運用方法	ニッセイ北欧株式 ファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	ニッセイ北欧株式 マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。		

ニッセイ北欧株式 マザーファンド

運用報告書

第 11 期

(計算期間：2022年12月1日～2023年11月30日)

運用方針	①主に北欧企業の株式へ投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	主要運用対象	北欧企業の株式
	②外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

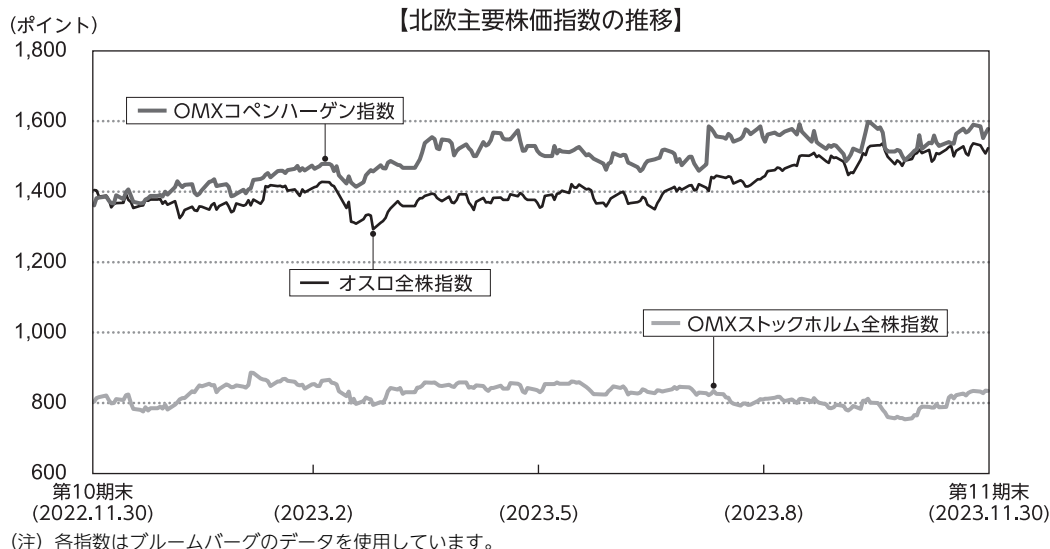
東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2022年12月1日～2023年11月30日

投資環境

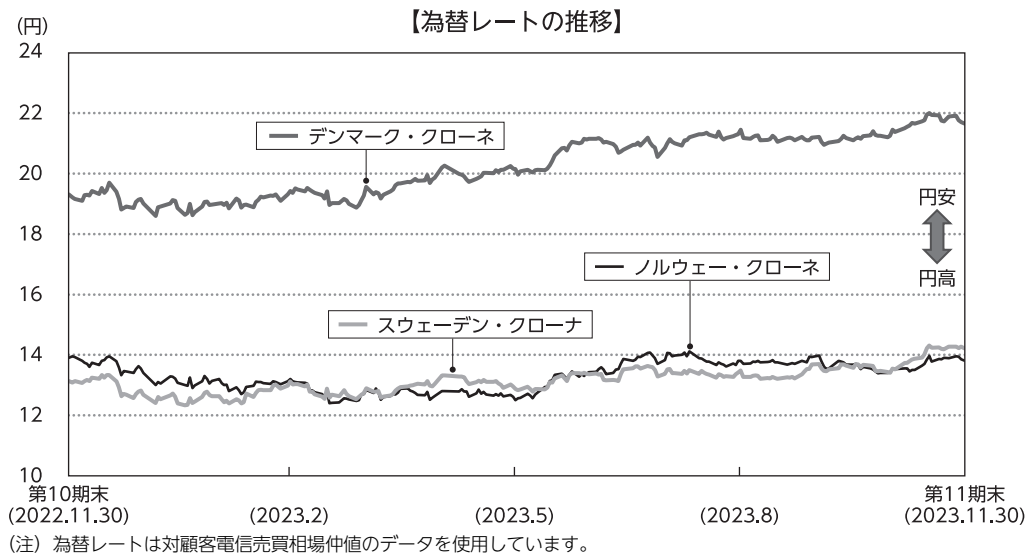
海外株式市況



当期の北欧株式市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初以降、インフレのピークアウト観測を受けた米利上げペース減速に対する期待感の高まりや中国の「ゼロコロナ」政策の事実上の撤廃で経済活動再開への期待感が高まったことから上昇する展開となりました。3月中旬に米地銀の破綻に端を発した欧米における金融不安発生から投資家のリスク回避的な動きが強まり上げ幅を縮める場面もありましたが、欧米金融当局の素早い対応もあり、金融不安はやわらぎました。その後、高止まりする域内インフレと欧州中央銀行（ECB）による利上げ継続やスウェーデンの商業用不動産大手の経営危機などが嫌気され、下落する展開となりました。また、米長期金利の上昇や欧州経済の下振れが嫌気され、景気敏感セクターやスウェーデンなどは上げ幅を縮めました。当期末にかけては米利上げ打ち止め観測の高まりを背景とした米長期金利の低下や、欧州における利下げ期待の高まり、米大手テクノロジー企業の良好な業績発表が好感され、反発して当期末を迎えました。

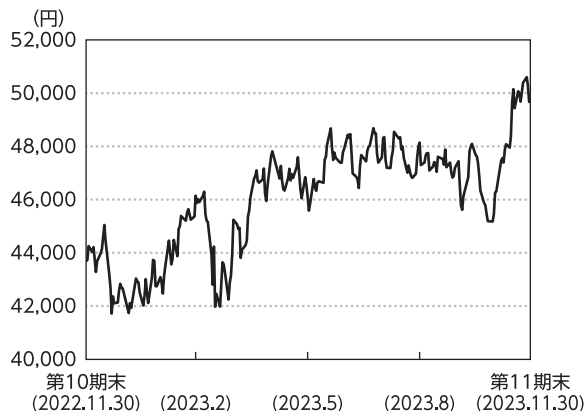
■為替市況



当期の北欧通貨は対円でまちまちの動きとなりました。

投資家のリスク選好姿勢や植田日銀総裁のもとで金融緩和策は微修正されましたが、緩和的な姿勢が維持されたことや世界的な金融引き締めが継続し、欧米との金利差が拡大したことなどをを受けて円安が進みました。一方で、原油価格の下落などから、ノルウェー・クローネに対しては円高となりました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 2023年1月上旬から2月下旬にかけて、インフレのピークアウト観測を受けた欧米の利上げペース減速に対する期待感の高まりや、中国の「ゼロコロナ」政策の事実上の撤廃から世界的に株式市場が上昇したこと
- ・ 3月下旬から4月上旬にかけて、欧米金融当局の金融危機への素早い対応から金融不安がやわらいだこと
- ・ 11月上旬以降、米利上げ打ち止め観測の高まりを受けた米長期金利の下落や欧州における利下げ期待の高まりなどから世界的に株式市場が上昇したこと
- ・ 保有比率最上位であるデンマークの糖尿病ケアのリーディングカンパニー「ノボ・ノルディスク」が同社の肥満症治療薬が心臓まひや脳卒中のリスクを減少させるとの研究結果を発表したことに加えて、需要の拡大が好感され株価が大きく上昇したこと
- ・ 日銀の金融緩和継続姿勢や世界的な金融引き締め継続を受けて円安が進んだこと

<下落要因>

- ・ 2023年3月上旬から中旬にかけて、金融政策に対する楽観的な見方が後退したことや米地銀の破綻など欧米で金融不安が発生したこと
- ・ 5月下旬にスウェーデンの商業用不動産大手の経営危機が嫌気されたこと
- ・ 5月下旬から10月下旬にかけて、欧州域内における各中央銀行の金融引き締め継続や米長期金利の上昇、欧州域内の景気減速懸念を受けて株価が下落したこと

ポートフォリオ

主に北欧企業の株式へ投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

個別銘柄については北欧企業の「高い技術」、「優れたデザイン」、「独自のビジネスモデル」などに優位性を持ち、今後の株価上昇に対し確信度の高い銘柄を厳選して組み入れを実施しました。

当期末の業種配分については組入比率の高い順に、資本財・サービス（31.1%）、金融（30.9%）、ヘルスケア（14.8%）としています。

(注1) 比率は対純資産総額比です。

(注2) 業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、北欧各国の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

主要投資対象国であるノルウェー・スウェーデン・デンマークの北欧3カ国は、人口や経済規模を示す国内総生産（GDP）で見ると決して大国ではありませんが、信用格付は最上位であるAAAを維持しており、生産性を示す一人当たりのGDPは世界でもトップクラスです。また、北欧企業の経営効率を示す自己資本利益率（ROE）は世界企業の平均を上回っており、世界的に活躍する優良企業が多数存在しています。北欧企業の製品やサービスは「高い技術」、「優れたデザイン」、「独自のビジネスモデル」を武器に、商品・サービスの差別化を図り世界的に展開しており、その優れたデザインやコンセプトは日本を含め世界中で人気を博しています。当マザーファンドでは北欧企業の優位性の源泉をしっかりと考慮して今後の株価上昇に対する確信度の高い銘柄を厳選して投資し、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	株式 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
7期(2019年12月2日)	27,374	8.1	93.1	432
8期(2020年11月30日)	33,124	21.0	94.3	460
9期(2021年11月30日)	44,493	34.3	93.4	778
10期(2022年11月30日)	43,697	△ 1.8	95.9	796
11期(2023年11月30日)	49,764	13.9	96.9	599

(注) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式 組入比率
	円	%	%
(期首)2022年11月30日	43,697	—	95.9
12月末	42,669	△ 2.4	94.2
2023年1月末	42,882	△ 1.9	93.3
2月末	46,150	5.6	95.9
3月末	45,244	3.5	93.3
4月末	46,509	6.4	96.2
5月末	46,114	5.5	94.5
6月末	47,902	9.6	95.1
7月末	47,580	8.9	91.9
8月末	48,141	10.2	91.4
9月末	47,196	8.0	91.4
10月末	45,454	4.0	91.1
(期末)2023年11月30日	49,764	13.9	96.9

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2022年12月1日～2023年11月30日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式)	27円 (27)	0.059% (0.059)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用 (保管費用)	91 (83)	0.198 (0.180)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(8)	(0.018)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	118	0.257	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（46,062円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2022年12月1日～2023年11月30日

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外国	デンマーク	百株 7 (19)	千デンマーク・クローネ 159	百株 120	千デンマーク・クローネ 6,423
	ノルウェー	5	千ノルウェー・クローネ 112 (△ 34)	141	千ノルウェー・クローネ 2,841
	スウェーデン	22	千スウェーデン・クローナ 238	460	千スウェーデン・クローナ 7,039

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は株式分割、合併などによる増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注4) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2022年12月1日～2023年11月30日

株式

買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
NORDEA BANK ABP	1	1,522	1,382	NOVO-NORDISK A/S	2	53,689	21,021
TRYGVESTA AS	0.491	1,519	3,095	NORDEA BANK ABP	12	19,604	1,563
TOPDANMARK A/S	0.223	1,514	6,791	DSV A/S	0.498	13,737	27,585
GJENSIDIGE FORSIKRING ASA	0.586	1,506	2,570	AVANZA BANK HOLDING AB	3	10,057	3,029
SVENSKA HANDELSBANKEN	1	1,503	1,311	ATLAS COPCO AB-A SHS	5	9,986	1,918
—	—	—	—	SVENSKA HANDELSBANKEN	7	9,192	1,233
				EQUINOR ASA	2	9,144	4,109
				SIMCORP A/S	1	8,864	8,725
				TRYGVESTA AS	2	8,341	3,114
				GJENSIDIGE FORSIKRING ASA	3	8,279	2,350

(注1) 金額は受渡代金で、外国株式は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

組入有価証券明細表

2023年11月30日現在

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(デンマーク)	百株	百株	千円	千円	
A P MOLLER - MAERSK A/S	0.67	0.50	543	11,772	運輸
CARLSBERG AS-B	4	3	287	6,218	食品・飲料・タバコ
CHR HANSEN HOLDING A/S	12	9	496	10,757	素材
COLOPLAST-B	17	13	1,079	23,381	ヘルスケア機器・サービス
DEMANT A/S	19	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
DSV A/S	19	14	1,571	34,045	運輸
FLSMIDTH & CO A/S	5	4	114	2,474	資本財
GENMAB A/S	2	1	329	7,144	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NOVO-NORDISK A/S	41	35	2,437	52,800	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NOVOZYMES A/S	21	16	567	12,286	素材
ORSTED A/S	4	3	102	2,210	公益事業
PANDORA A/S	7	5	493	10,679	耐久消費財・アパレル
SIMCORP A/S	10	—	—	—	ソフトウェア・サービス
TOPDANMARK A/S	43	33	1,089	23,598	保険
TRYGVESTA AS	101	79	1,165	25,236	保険

ニッセイ北欧株式マザーファンド

銘柄		期首(前期末)		当期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(デンマーク)		百株	百株	千円	千円	
VESTAS WIND SYSTEMS A/S		10	8	146	3,182	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	323 16	229 14	10,424 -	225,791 <37.6%>	
(ノルウェー)				千円	千円	
ATEA ASA		66	49	616	8,514	ソフトウェア・サービス
BAKKA Frost P/F		27	20	1,065	14,715	食品・飲料・タバコ
EQUINOR ASA		88	66	2,281	31,506	エネルギー
GJENSIDIGE FORSIKRING ASA		134	105	1,912	26,405	保険
NORDIC SEMICONDUCTOR ASA		22	16	166	2,293	半導体・半導体製造装置
TELENOR ASA		64	48	560	7,736	電気通信サービス
TOMRA SYSTEMS ASA		76	57	594	8,210	資本財
VEIDEKKE ASA		79	59	622	8,598	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	560 8	424 8	7,818 -	107,979 <18.0%>	
(スウェーデン)				千円	千円	
ASSA ABLOY AB		20	15	421	5,984	資本財
ATLAS COPCO AB-A SHS		207	155	2,513	35,715	資本財
AUTOLIV INC-SWED DEP RECEIPT		2	-	-	-	自動車・自動車部品
AVANZA BANK HOLDING AB		131	98	2,033	28,893	金融サービス
EPIROC AB-A		76	57	1,113	15,818	資本財
EVOLUTION AB		4	-	-	-	消費者サービス
GETINGE AB-B SHS		22	17	385	5,482	ヘルスケア機器・サービス
HENNES & MAURITZ AB		12	9	169	2,405	一般消費財・サービス流通・小売り
HEXPOL AB		96	72	772	10,977	素材
LIFCO AB-B SHS		90	67	1,549	22,020	資本財
NORDEA BANK ABP		417	302	3,541	50,329	銀行
SANDVIK AB		56	42	870	12,364	資本財
SKF AB		61	46	902	12,820	資本財
SVENSKA HANDELSBANKEN		283	220	2,191	31,140	銀行
SWECO AB-B SHS		102	76	968	13,767	資本財
TELEFONAKTIEBOLAGET LM ERICSSON		32	-	-	-	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,621 16	1,182 13	17,432 -	247,718 <41.3%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,504 40	1,836 35	- -	581,489 <96.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(注4) 業種はG I C S分類(産業グループ)によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

投資信託財産の構成

2023年11月30日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	581,489	95.4
コール・ローン等、その他	28,182	4.6
投資信託財産総額	609,672	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお11月30日における邦貨換算レートは、1米ドル147.07円、1デンマーク・クローネ21.66円、1ノルウェー・クローネ13.81円、1スウェーデン・クローナ14.21円です。

(注2) 外貨建純資産（600,745千円）の投資信託財産総額（609,672千円）に対する比率は98.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年11月30日現在)

項目	当期末
(A)資産	614,672,263円
コール・ローン等	27,493,889
株式(評価額)	581,489,994
未収入金	5,000,000
未収配当金	688,380
(B)負債	14,760,785
未払金	5,003,749
未払解約金	9,757,013
その他未払費用	23
(C)純資産総額(A-B)	599,911,478
元本	120,551,356
次期繰越損益金	479,360,122
(D)受益権総口数	120,551,356口
1万口当たり基準価額(C/D)	49,764円

(注1) 期首元本額 182,198,200円
期中追加設定元本額 27,325,769円
期中一部解約元本額 88,972,613円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイ北欧株式ファンド(為替ヘッジなし) 105,737,189円
ニッセイ北欧株式ファンド(為替ヘッジあり) 14,814,167円

損益の状況

当期(2022年12月1日~2023年11月30日)

項目	当期
(A)配当等収益	24,959,587円
受取配当金	24,785,876
受取利息	181,883
支払利息	△ 8,172
(B)有価証券売買損益	69,075,197
売買益	124,553,259
売買損	△ 55,478,062
(C)信託報酬等	△ 1,351,833
(D)当期損益金(A+B+C)	92,682,951
(E)前期繰越損益金	613,960,351
(F)追加信託差損益金	97,943,467
(G)解約差損益金	△ 325,226,647
(H)合計(D+E+F+G)	479,360,122
次期繰越損益金(H)	479,360,122

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。